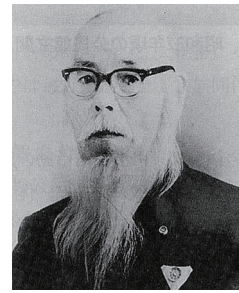




那須町と 近現代の人々



vol.08



宗光彦(1888-1978)

8月号は、満州千振開拓団長の宗光彦を紹介します。

宗光彦は、佐賀県の出身で、旧制宇佐中学校、東京帝国大学農学実科(現東京農工大)を卒業後、大正2年南満州鉄道株式会社(通称・満鉄)に入社しました。その後、大正14年に公主嶺農業学校長、昭和4年には公主嶺農業実習所長を歴任し、そこでの手腕などが買われ、昭和8年に第2次武装移民団(後に千振開拓団)団長として満州開拓にあたりました。

満州で開拓を実施した千振開拓団は、当時武装移民(試験移民)という形で入植しました。これは、昭和7年〜10年まで行われた満州への移住形態の1つです。当時の満州には抗日武装集団が各地に存在しており、開拓団員らを襲撃しました。開拓団員らは治安維持を兼ねるため武装し入植しますが、武装勢力に襲われ亡くなる方々も存在しました。そのため、このようなエピソードが残っています。昭和12年、第1回移民団長会議が行われた際、宗は加藤完治(満州開拓の父)に対し、開拓団長が武装勢力に襲われ死亡した際の保証を要求しています。宗の、若者や開拓仲間への気遣いが感じられる逸話です。

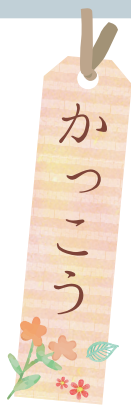
昭和10年代に入ると宗は、昭和14年に満州国開拓総局参与、昭和16年に満州国協和会開拓分会長、翌17年には満州拓殖公社理事を歴任し、満州国内の開拓行政や政治に強い影響力を持ちました。石原莞爾は宗を「満州移民の現地に於ける最大功労者の一人」と称しています。いかに宗が満州開拓でキーパーソンであったかがわかる評価です。

敗戦以降は、北満開拓難民救済本部を設置し本部長に就任すると、中国大陸からの開拓民の引揚にあたりました。翌年には全国開拓民自興会を創設し初代会長に就任します

が、公職追放により会長を辞任。その後那須町千振に入植し、かつての仲間と共に農業に勤しみ、昭和53年に亡くなりました。77回目の終戦の日を迎えるこの夏は、満州と那須の千振で汗を流し開拓を行った彼から、町の開拓・戦争について考えてみてください。



「開拓」碑



8月は、花火大会、盆踊りなどお祭りが数多く開催される時季です。私の地元でも、お盆に開催されるお祭りがあります。「燈籠祭」と呼ばれていて、道沿いにたくさん灯籠が立ち並び、歩きながら楽しむことができます。真っ暗な夜道に灯る光はやわらかく、幻想的な雰囲気包まれるお祭りです▼お祭り当日は、まだ明るい

うちから、土台となる木の棒が道沿いに立てられます。家の窓からその様子を見ることができた小学生の私は、お祭りの開始が待ち遠しくて仕方ありません。今か今かとその瞬間を待ちます。辺りが暗くなった頃、ようやく灯りがともされます。「ついた!早く行こう」灯籠を眺めながら、メイン会場である公民館を目指します。祭はやしがり響く中、焼きそば、かき氷、ヨーヨー釣りなどを満喫し、また、灯籠を眺めながら、家路に

就いたことを思い出します▼8月15日には、黒田原小学校校庭で「なすつこ祭り」が開催されます。ここでは、いちご一會とちぎ国体那須町炬火イベントも行われ、マイグリを使用した採火イベントや国体開催記念花火の打ち上げなどが行われます▼新型コロナウイルス感染症の影響で中止が相次いでいた地域のお祭りですが、今年は会場に足を運び、久しぶりのお祭りを楽しみたいと思っています。

こんにちは

赤ちゃん



令和4年1月生まれ

みつき 片山水月ちゃん



水月ちゃんは…
よく笑う明るい娘です

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(7月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

●世帯数 10,576世帯 (-2)

●人口 24,393人 (-17)

男 12,150人 (-12)

女 12,243人 (-5)

出生 4人 (-4)
死亡 35人 (+6)
転入 77人 (-17)
転出 63人 (-24)
その他 4人

お詫びと訂正
広報那須7月号の掲載記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

○24ページ(裏表紙)「町の世帯と人口」
・誤 その他0人 ・正 その他4人